

ひとと空間を科学する

住居学科とは…

生活手段の3要素と言われる衣・食・住の一つである「住」に焦点を当てて、住生活全般に渡る諸問題について学術的に探究する学科です。住宅だけではなく、その周囲の近隣や地域環境を含めた全ての生活の場を対象として、子どもから高齢者まで、男性も女性も、障害の有無にかかわらず、安全かつ健康的に文化的な生活ができる場を生活者の視点に立って実現することを目標に、その探求と創造によって社会に貢献できる人材を養成しています。

topic
1

住居学科から羽ばたく先輩たち

妹島 和世 さん

sejima kazuyo



建築界のノーベル賞「プリツカー賞」受賞

妹島 和世さんは、1979年 日本女子大学住居学科を卒業し、1981年 日本女子大学大学院修了、その後伊東豊雄建築設計事務所に入所し経験を積んだ後、妹島和世建築設計事務所を設立して独立。また、西沢立衛氏とSANAAを共同設立。住宅から美術館まで、様々な建築作品を生み出しています。

日本建築学会賞(2006年 金沢21世紀美術館・1998年 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー マルチメディア工房)、イタリアヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞(2004年)、建築界ノーベル賞ともいわれるプリツカー賞(2010年)など多数受賞されています。



Photo by Takashi Okamoto

11/9

開催予定

妹島 和世さん 講演会

会場 日本女子大学
目白キャンパス 成瀬記念講堂

開始時間 14:00 ~

共催 住居の会 (住居学科同窓会) 住居学科

詳細・お申込み

現在準備中です。申込み受付開始予定の9月末に、住居の会のHP (<http://www.jyukyo.net/>) に詳細を掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

*人数に制限があるため、申込者が定員オーバーの場合はお断りする場合があります。



妹島和世さんは、現在、客員教授として住居学科大学院の授業を受け持っています。住居学科の授業は、各界で活躍されているすばらしい講師が勢ぞろい！興味のある方はホームページをご覧ください。オープンキャンパスで会場スタッフにお尋ねください。



大学院 修士1年

加藤 ひかるさん

katou hikaru

卒業制作作品が多数受賞しました。(建築デザイン専攻4年次の作品)

林雅子賞* 小嶋一浩審査員特別賞

面翠全国学生設計優秀作品展 レモン賞/入江正之賞

JIA 東京都学生卒業設計コンクール 鈴木啓賞

JIA 全国学生卒業設計コンクール 今川憲英賞

タイトルは「壁に寄り添う家族—匿名性と顕名性を行き交うシェアハウス—」です。制作のコンセプトは、都心に置ける新たな家族の再編集です。今までの設計スタジオで考えてきた都心での個人の住まい方について、血縁や婚姻ではない人々がどのようにしたらつかず離れずの関係を築くことができるのかということを考えて設計しました。

卒業制作は制作している最中と同じ位、制作したあとが長かったように思います。制作中、制作後ともに自分の未熟な部分を目の当たりにすることが沢山ありましたが、友人や先生方に評価してもらって行く過程で、自分が本当にやりたいことがどんどんクリアになり、未熟さを知ることも含めて、楽しい卒業設計であったと思います。また、何かに全力投球をしてみるということを改めて感じた期間でもありました。嫌になったこともあったけれど、それでも正面から自分が提示した問題とその解決を考え続けることは、自分にとってよい経験になったと思います。



壁に寄り添う家族 —匿名性と顕名性を行き交うシェアハウス—



大学院 修士1年

冨 彩子さん

motai ayako

卒業制作作品が受賞しました。(建築デザイン専攻4年次の作品)

林雅子賞* 林雅子賞

タイトル

イダマリ 一人の拠り所になる空間の提案—

コンセプト

本来、人の居場所となるべき広場が機能しない現代。そこに、居心地のよい「陽だまり」を探すように、自分が居心地の良いと思う場所、すなわち「イダマリ」をそれぞれが探せるような、様々な空間を内包する空間の提案です。壁で囲まれた箱のような空間ではなく、箱を解体することで得られる壁や床に本来建築を構成する0°、90°以外の角度を持たせることで、今までにない新たな空間を設計することを目指しました。

苦労したこと

やりたいこと、作りたいことを実際の作品とリンクさせることが特に難しかったです。どうしたら、選択性を持つ空間を作ることができるのか。どんな空間に人はひきつけられるのか。この作品をデザインする時に、常にこのことで頭を悩ましていました。自分自身でも、様々な空間に足を運び、経験することで少しずつ完成させていきました。これを通して、成長できただけでなく、より空間を自分の手で作り出す楽しみを知ることができました。



イダマリ 一人の拠り所になる空間の提案—

* 林雅子賞…日本女子大学家政学部生活芸術科住居専攻(1962年より家政学部住居学科)の第一期生である国際的建築家林雅子先生を記念し、優れた女性建築家の育成と本学住居学科の発展のために、2002年に「住居の会」により創設された賞です。(住居の会 HPより)



interview

著書『中世後期シエナにおける都市美の表象』が
地中海学会ヘレンド賞を受賞！

片山 伸也 准教授
katayama shinya



学生の皆さんへ…

今、私たちがどこにいて何をすべきか
教えてくれるのは過去からの歴史です。
建物だけじゃなく、その外に広がる
都市空間と広大な領域にも、
是非、興味を持ってください！



ヘレンド賞副賞の飾り皿

地中海学会ヘレンド賞を受賞して

受賞対象となった『中世後期シエナにおける都市美の表象』は東京芸術大学大学院に提出した博士の学位論文を加筆修正し、日本学術振興会の助成を受けて中央公論美術出版より2013年1月に刊行したものです。

本書では、中世イタリアの丘上都市であるシエナにおいて都市共同体の美意識が都市空間に主体的に表出する様を大聖堂などの建築単体の持つ芸術性も含めて「都市美」と定義し、中世後期シエナの都市美の表象として「①大聖堂と都市内外の聖堂建築に現れる都市美の様態」、「②世俗建築の意匠性とその分布に見られる新たな都市美の形成」、「③ノーヴェ政府統治下の都市条例に見られる都市の美意識」の3点について各章で論じています。



『中世後期シエナにおける都市美の表象』（中央公論美術出版）

住居学科図書館に配架されています。
学生のみなさんはぜひ読んでみてください！

長年シエナの研究をしてきましたが、「聖堂建築」・「パラッツォと街並み」・「都市形成」という中世後期シエナで起こった現象を、どうすれば一つの論としてまとめることができるかを考えたとき思い出したのが、学部生の頃はじめてイタリアを旅行した時の美しい都市シエナとの出会いでした。私がシエナに魅了されたのは何よりもその都市空間の美しさであり、それらすべてはその時代にシエナを生きた人々の美意識の表象だったのではないかと。時代の美意識の現れとして中世後期シエナを見ることで、司教を頼って自治を獲得し司教座聖堂が都市統合のシンボルであった13世紀初頭まで、共和制が確立し有力家族のパラッツォの意匠性によって都市の主要な道路沿いに偶発的に美しい都市景観が実現する13世紀後半、ノーヴェ政府が誕生し通りと広場すなわち公共空間が明確な美意識の下で整備された14世紀と、その「都市美」の変遷を辿ることができたように思います。

地中海学会HP <http://www.collegium-mediterr.org/>
受賞について <http://www.collegium-mediterr.org/geppo/360.html>



地域と一緒に防災活動！

現在平田研究室では文京区関口町会と、避難所の迅速な立ち上げをするためのプロジェクトを行っています。

8月4日には住民が事前に名簿を登録する会と共に防災ワークショップを開催。避難所についての知識や自宅の備蓄を、地域のみなさんと一緒にワークを通して確認していきます。地域と関わりながらのプロジェクトは、社会との繋がりを意識した、卒論に取り組むための基礎勉強となっています。

member

小久井、高橋、竹中、長谷、山下(実)、山下(智) (平田研究室)



📌 新宿クリエイターズ・フェスタ 2013 に参加します！

新宿クリエイターズ・フェスタとは…

この、新宿クリエイターズ・フェスタは、学生の豊かで挑戦的な発想と創造力で、都市における新たなコミュニケーション機能をもった装置及びアート作品を制作し、公共の空間・施設に展示することで、新宿から新たなアート・文化の創造・発信を進めるとともに、新宿の新しい活力やイメージの創出を目指すもので、今年のテーマは「都市の感動をデザインする」です。

公式HP <http://www.scf-web.net/>

日本女子大学の作品

image board



title

「映された都市の水面」

concept

遠くから見ると輝いた水面に見え、近づいて覗きこんでみると都市の多様な姿を映しだして見える。多面的な鏡に垣間見える都市と人間の姿。ガラス、金属のような様々な磨かれた反射面が都市には散りばめられている。自然界では唯一水面が反射する。人間がつくる都市の感動を、わたしたちは、都市と自然の境界面に表現する。

place

- ・新宿モア 4 番街歩道
(屋外展示・日本女子大学大学院作品出展場所)
- ・新宿西口センタービル 1 階ロビー (屋内展示)

member

加藤 ひかる 中里 友美 壘 彩子 (大学院 宮研究室)



目白祭の展示に向けて準備中

Archigirl アーキガール

Archigirl ロゴマーク



目白祭で住居学科学生有志が、展示会を開催します。

今年は、各学年が授業内で取り組んだ、キャンパス計画に関する学びの総合展。学内の敷地を対象とした図書館、カフェ、野外劇場の設計作品が一堂に会します。

また、他大学の様子や本学キャンパスの空間分析等、授業で課されたレポートの成果も紹介される予定です。

住居学科のアクティブ・ラーニングをご覧ください。

ラーニングコモンとして評価の高い
共愛学園の見学会の様子

他大学のキャンパスを
偵察！



the next number ▶

リトアニア、カウナス市で開催される日本とリトアニアの建築イベント「EAST-EAST 4」に参加する建築家として、宮 晶子准教授が選出されました！ 大学院生 1 名も参加予定です。次号で詳しくお伝えします！

住居だより No.001(ver.2) | Editor: 住居学科 平田 京子 Design: 佐々木 貴子



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

住居学科

居住環境デザイン専攻
建築デザイン専攻

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 TEL: 03-5981-3452 (住居学科中央研究室)
URL: <http://mcm-www.jwu.ac.jp/~jyu-ishii/jyu/ui/course0104a.htm>
住居学科ルポルタージュ: <http://project-jwu.ac.jp/>

We are with you 東日本

日本女子大学
住居学科